

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		自分の事が出来にくく、歩行のできない人が多くなり、グループホーム活動と言われる共同作業にも参加しにくい。	動けなくとも、生活の変化や楽しみがあって、心地よく暮らせる。	ピアノや民謡の先生を依頼してあり、車椅子などでお連れし、一緒の場所で楽しむ事や体操や歌などでリハビリしてもらうよう誘導している。	ヶ月
2		動けない人と日に何度も徘徊に出かける人とのかわり時間にギャップがあり、人員配置が困難となる。	動けない人も、生活動作に不自由せず、十分な介護を受けられる事。	早朝の徘徊には、早出の人にもっと早く出勤してもらうとか、玄関にセンサーを置いて見守っているなど工夫しながら他の入居者の介護に当たっている。	ヶ月
3		全員での外出や、散歩には、1人に一人の職員が必要なので、頻回に出かけにくくなっている。	気持の良い日には、全員の外出が出来、外の風に当たりたい。	散歩に職員が何度もピストンで、入れ替わり連れてゆくが、一人ひとりの動作に時間がかかるので、職員に臨時勤務を依頼しながら外出している。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月